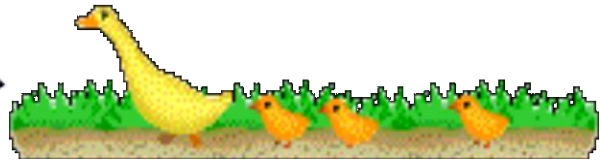


交流及び共同学習情報紙

てくてく



福井大学教育学部附属特別支援学校 教育相談部

★2019. 7. 1(月)発行

福井県福井市ハツ島町1-3 TEL0776-22-6781(FAX22-6776)

<http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~f-tokusi/>

今年度の交流及び共同学習情報紙「てくてく」1号ができあがりました。本校では、インクルーシブ教育システム構築の推進のため、交流及び共同学習に積極的に取り組んでいます。今後も、交流及び共同学習に関する取組や情報を発信していきます。

小学部



《学校間交流》

6月13日(木)、日新小学校の4年生の児童29名が来校し、交流会を行いました。最初に、3つのグループに分かれて自己紹介を行い、みんなの好きな食べ物や得意なことなどについて聞きました。その後、運動会の競技「お弁当大作戦」と「フリスビーストライク」をチーム対抗で行いました。「お弁当大作戦」では、2人組、3人組になって、野菜やお肉を一緒に運んだり、全員で大きなおにぎりを隣へ渡していったり、みんなで協力してお弁当を完成させることができました。「フリスビーストライク」でも、二人組で仲良く手をつないで的まで走る姿が見られました。日新小学校の子どもたちが本校の子どもたちに優しく接してくれ、それぞれのチームが協力し合いながら活動に参加でき、楽しい交流会となりました。次回は、11月に本校の児童が日新小学校に出向いて交流会を行う予定です。



今年度も、日新小学校の他に、明新小学校、西藤島小学校との学校間交流も予定しています。事前と事後に打ち合わせを重ねて、お互いの児童にとって取り組みやすく、学び合いが生まれるような内容を設定し、交流学習を進めていきたいと思ひます。



《居住地校交流》

居住地校交流では、本校児童の居住地にある小学校の通常の学級や特別支援学級の児童と交流しています。今年度の小学部は13名の児童が居住地校交流を行う予定です。児童それぞれが、福井市や坂井市の小学校に登校し、音楽や体育、学級活動などに参加することを計画しています。交流の時間や内容は様々ですが、交流を通して、互いに経験を広げたり、人と関わる力を高めたりしていくことを目指しています。

★Aさんの居住地校交流の様子★

全校縦割りグループでの活動に参加し、徒歩で近くの公園へ行きました。友達に「久しぶり」「大きくなったね」などと声を掛けられ、Aさんは恥ずかしがりながらも「うん」と嬉しそうに

うなずいていました。道中では、長い草の感触を足で感じたり、田んぼの稲を指差したり、用水路の流れをじっと見つめたりして、自然を味わいながら歩いていました。公園では、レクリエーションを楽しみました。「じゃんけん列車」では、Aさんがじゃんけんを勝って先頭になると喜ぶだろうと考える友達が多くいて、何度もじゃんけんをしていました。先頭で歩くAさん列車は、気持ちよさそうでした。最後は、長い列車になり壮観でした。フリスビーを使ってドッジボールをする「ドッジビー」もしました。みんなの投げるフリスビーの速さに「すごいわ」とはしゃいでいたり、先生と一緒にフリスビーを投げてみたりしました。投げる時は、Aさんらしく慎重で、うまく飛ばすと嬉しそうでした。帰り道で「楽しかった？」と教師が尋ねると、「楽しかった！」と元気よく答えていました。



中学部

《フィンドレー大学との交流》

5月20日（月）にアメリカのオハイオ州のフィンドレー大学の方や福井大学の英語科の学生と英語交流をしました。中学部の子どもたちの中には、昨年度の交流を経験している生徒がいたり、交流前に自己紹介の仕方や好きなものの伝え方、当日行うゲームの仕方を予め体験したりしたことで、交流を楽しみにする生徒が多かったように思います。

当日は、いろいろな活動を通して英語で関わり合いました。慣れない英語でのやり取りに緊張したり不安になったりした生徒たちですが、「話してみたい」という思いは強く、初めて会ったにも関わらず、あっという間に距離が近くなりました。普段取り組んでいる活動を一生懸命に紹介したり、給食の時間に気になることをたくさん聞いたりできました。最後のお別れの時にはハイタッチしながらお互いに「またね」と来年も会いたい気持ちを確かめ合っていました。生徒たちの溢れる笑顔から、いろいろな方との関わりを大切にすることの大切さが伝わってきました。

今後も、福井大学の英語教員とともに、本校の子どもたちが英語や海外の文化に触れ合う機会を設定していく予定です。いろいろな経験を通して、興味関心の幅が広がると良いと考えています。



ビンゴゲーム



高等部



《福井大学祭「虹の市」》

高等部の生活の中心である「仕事」には、「畑・織り」「焼き物」「紙と刷り」の3つの班があります。そして、これらの仕事の時間に自分たちで作った作品を展示・販売する「虹の市」を、年に数回行っています。虹の市では、作品の搬入、搬出、陳列なども生徒たちで協力して行っています。販売活動を通して仕事に対する意欲を高め、地域の人たちと交流する機会や社会参加につながることを期待し、積極的に取り組んでいます。

5月25日(土)に行われた福井大学祭でも虹の市を出店し、仕事の時間に作った作品や畑で収穫した野菜を販売しました。生徒たちは、自分たちの作った作品をお客様にアピールし、レジでは梱包や会計の仕事に張り切って取り組んでいました。

また、「レインボーカフェ」という喫茶コーナーを開き、抹茶・ジュース・コーヒーなどの飲み物の販売も行いました。販売や接客などの活動を通して、地域の方や保護者の方との交流を楽しむことができました。



福井大学祭「虹の市」：作品 PR の売り子 ・会計（レジ）コーナー ・喫茶コーナー

<お客さまの声から>

- ・販売していた作品は、手作り感がありながらも使い勝手が良く、しっかりした出来映えです。
- ・デザイン、色、形など味わいのある作品で良かったです。
- ・アイデア品がたくさん新発売されていてうれしいです。みなさんが仕事をすることに楽しみを見つけて、それが商品になればいいと思います。
- ・接客の対応がとても丁寧で、しっかりしているなと思いました。
- ・元気に、丁寧な言葉遣いで接客ができていました。
- ・接客の笑顔が良かったです。
- ・待たずに、すぐに対応してもらえました。

★今後の虹の市の予定

開催日	行事名等	場 所
9月7日(土)・8日(日)	障害者ワークフェア	ラブリーパートナー エルパ
10月5日(土)	学校祭	本校 地域交流棟2F多目的室
11月27日(水)	事業所感謝フェア	本校 地域交流棟2F多目的室
1月17日(金)~21日(火)	新春茶会	本校 のぞみの家

ぜひ、お越しください。

《生活3班「くまっこクラブふくい」との交流》

6月12日(水)、生活3班の生徒が「くまっこクラブふくい」との交流を行いました。

当日は、くまっこクラブふくいから6名の利用者の方と、「カラオケフィットネス協会福井校」から向 美紀恵先生が来られ、一緒にダンスをしたりおやつを食べたりする活動を行いました。くまっこクラブふくいから来られた方の中には本校の卒業生もいたので、生徒たちは懐かしい先輩に会えてうれしそうでした。また、本校の生徒の中には放課後等デイサービスでくまっこクラブふくいを利用している子もいるため、よく知っているメンバーと安心して活動できているようでした。

生徒たちは、学校で頑張っている姿を見てもらいたかったようで、意欲的に学校紹介をしたり、張り切ってダンスをしたりするなど、生き生きと交流を楽しむことができていました。



教育相談部との教育相談会「おしゃべりサロン」



本校では、保護者の皆様の日頃の思いや悩みなど、どんなことでもお話しただけの場として、一昨年度、教育相談部との教育相談会を開設し、「おしゃべりサロン」と名付けました。原則、毎月第3金曜日に実施しており、昨年度は、延べ 13 名の方が参加してくださいました。

令和元年がスタートし、6月の相談日には、2名の方のお申込みがありました。30分程度の時間ではありますが、コーヒーや紅茶を飲みながら、ご家庭での出来事や学校での出来事、ご家族のことなど…いろいろなお話をしています。

また、ご希望に応じて、進路指導部や保健部、その他の外部機関など、いろいろな相談窓口をご紹介します。

相談日は、ハツ島だよりでお知らせし、ご希望の時間帯の調査票を配付します。話したいことがたくさんある方も、「どんな場だろう？」と気になる方も、是非、一度、ご参加ください。お待ちしております。

